

「高卒」の夢 実現を

熊本市支援センター開校

元県立高校長の砂岡さん(合志市)

元県立湧心館高校長の砂岡憲喜さん(61)＝合志市＝が、熊本市北千反畑町のビルの一室に、通信制私立高校のサテライト教室「くまもと教育支援センター」を設立。高校を中退した若者らをサポートしている。

砂岡さんは熊本商定時制(廃止)教諭や、苓北養護学校長などを務めた。単位、定時、通信制など多様な学び方ができる湧心館高では、ほかの高校を中退し、再入学してきた生徒らとも向き合った。

「高校中退は、家庭や健康面で恵まれない事情があることも。学びを遂げることで自信や誇りを抱ける。とにかく卒業にこだわった」

砂岡さんは熊本商定と砂岡さん。それでも「公立校は進級卒業に厳格な規定があり、どうしても卒業させることができない生徒がいた」と振り返る。

同校長を昨年3月、定年退職。9月にセンターを開校させた。「どんな境遇の生徒も受け入れ、徹底的にフォローしたい」との思いからという。

高校を中退した18〜23歳の男女4人が1期生として入学した。単位認定に必要なリポート提出が中心だが、週3日の授業も用意。砂岡さんや元教諭ら9人の講師が、習熟度に応じて個別指導した。

この結果、4人全員が、中退のため取得できていなかった分の単位を取得。高卒資格が認められ、今春、県内の私立大や専門学校に進んだ。

4月からは、体調面

などを理由に高校を中退した男女2人の生徒が通う。生徒らは「将来のため高卒の資格は得たい。自分のペースで単位を積み重ねていきたい」と言う。

同センターは、入金や授業料など初年度で約70万円の学費が掛かる。「家計が困窮している生徒も学べるようにしたい」。砂岡さんは生徒への奨学金貸与・給付を要請し、県内企業を回っている。

同センター ☎096(341)5657。(宮崎達也)



高卒資格を目指す若者たちに学習指導をする「くまもと教育支援センター」代表の砂岡憲喜さん

＝熊本市北千反畑町